

第 10 回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議

1 日 時 平成 30 年 3 月 29 日（木） 14：00～16：00

2 場 所 職員会館かもがわ 3 階 第 2 多目的室

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 議事次第及び内容

〔1〕開会

（鈴木交通政策担当局長）

- 「歩いて楽しいまちなか戦略」については、四条通歩道拡幅事業をはじめ、まちなかの賑わいの創出に取り組んできた。四条通歩道拡幅事業については完了から約 2 年半が経過し、工事中には皆様にご迷惑をお掛けすることもあったが、現在は落ち着きを取り戻している。
- 本日は、その後のまちなかの現状と今年度の取組、具体的には物流 WG とタクシー駐停車マナー向上に向けた取組について報告する。
- 昨年、委員の改選が行われたことを受け、改めて皆様からまちなかに関する忌憚のないご意見をいただきたい。

（塚口会長）

- オーストラリアのシドニーでは、一番交通量が多い通りに LRT を導入する工事が進んでいた。また、工事中ではあるが、既に一部区間はトランジットモールとなっており、まちが変わってきている。
- 「歩いて楽しいまちなか戦略」は、四条通だけでなく、四条通を含めた周辺地域が元気になることが最終目標である。本日は、まちなかの将来的な姿を議論することになるが、個人的にはトランジットモールのような姿も含めて、皆様との議論ができればと思っている。
- また、本推進会議は、単なる進捗報告の会議ではなく、今後のあり方について考える場であると考えている。そのためには、行政だけでなく、行政と委員が協力し合った中で進めていくことが重要であると考えている。

〔2〕出席者自己紹介

〔3〕議事

（1）「歩いて楽しいまちなか戦略」平成 29 年度の取組について

〔事務局より、資料 3 及び資料 4 の説明〕

（塚口会長）

- 積極的なご発言をお願いしたい。地元の方々でお困りの点やお気づきの点はないか。

（中村委員）

- 四条通の歩道拡幅が行われる前の地元説明会では、厳しい指摘などがあったが、現在、四

条通を車で横断しても問題はない。また、お年寄りから歩きやすくなったとも聞いている。アーケードが整備前の歩道分しかなく、雨の日はかつての歩道の状態に戻ってしまうという意見もあるが、全体でみると我々の地域では大きな影響はなく、むしろプラス面が大きい。

- 生祥学区には多種多様な店があるため、歩いて楽しいまちづくりに対して色々な意見もあるかと思うが、違法駐輪対策等、様々な取組を行い、徐々に良くなってきている。
- お年寄りから子どもまで生祥学区に住んでよかったと言ってもらうのが我々の目標であり、今後、道を綺麗にすることや看板などの景観面の配慮にも取り組む必要があると考えている。立て看板やチラシ等があるが、なかには子供には不適切なものもあり、警察への報告を行ったこともある。このように地域を見守っていくことが、戦略の推進に寄与するものと考えている。

(田中委員代理)

- 四条通の雰囲気は良くなった。最近は渋滞もそれほど発生していない。16時や17時頃、自動車で、烏丸通から河原町通までを12～13分ほどで通り抜けることができ、市バスの運行時間も整備前と同じ状況まで戻った。
- 一方、河原町通の四条通から五条通の南行きで混雑が大きい場合がある。四条通以外の周辺道路も含めて、道路交通状況を確認してほしい。
- また、四条河原町交差点周辺において、以前からタクシーの駐停車が見られる。特に高島屋東側の駐車場の入り口では、高島屋に入りたい北行のクルマとの二重駐車になっており、バスも通れない状況である。こちらも合わせて調査してもらいたい。

(山口担当部長)

- まちなかの課題は四条通だけでなく、周辺も含めた全体を捉えるべきと考えている。ご指摘のあった河原町通のタクシーの駐停車の状況についても注視していく。また、マイカーの流入抑制策についても引き続き取り組む。

(塚口会長)

- タクシーの状況について、タクシー業務センターから報告してほしい。

(近藤委員代理)

- タクシーに関して、高島屋や大丸前で、ルールやマナー違反の車両を確認している。そのため、従前から定期的に行っている街頭指導活動に加えて、新たに指導員を派遣した指導も行っている。河原町通の北行きの指導については、2人体制が必要であるが、人員を確保できていない状況である。駐車場入り口等、一般車との兼ね合いもあり、タクシーだけで解決できる問題ではないことをご理解いただきたい。今後も諦めずに、指導に取り組んでいく。

(塚口会長)

- タクシーに関する意見は他にあるか。

(諸井委員)

- 河原町蛸薬師交差点内にタクシーが停まる状況がみられる。信号の移設も含めて、対策が必要かと考えている。

(塚口会長)

- 次に、物流に関しての意見をいただきたい。まず、京都府トラック協会より、集配車両の

駐車規制見直しについて、説明いただきたい。

〔井尻委員より集配車両の駐車規制見直しに関する新聞記事の説明〕

（中村委員）

- 小学校の安全会議において、登下校時にトラックが停まっているためトラックを避けて歩く必要があり、怖い思いをすとの意見があった。時間帯での規制緩和をする際には、児童の登下校時間にも配慮していただきたい。

（塚口会長）

- この問題については、エリアマネジメント会議が上手く機能すると考える。取組について何かあれば事務局から報告してほしい。

（大岸課長）

- 物流問題に関しては、基本的に物流 WG にて、路上荷捌きの整序化に向けた対策を検討・実施している。大きな成果が出ている訳ではないが、徐々に商店街関係者の意識が変わってきている。取組を進める上で、子どもの通学時間帯などの安全確保は大前提である。それを踏まえて、何ができるか考えていきたい。

（山田副会長）

- 本来、「歩いて楽しいまちなか」を実現するには、タクシーやトラックだけでなく、乗用車や自転車、歩行者についても考える必要がある。トラックの利用は他に代替手段がないが、乗用車や自転車の利用は公共交通に転換できる。特に、まちなかは公共交通の利便性が非常に高い。
- インフラへの予算が限られる中、規制も検討案の一つとしてあるが、総論賛成・各論反対となることが多い。様々な制約がある中で、できることを考える必要がある。ただ、トラックは呼ぶ人がいるからまちなかに入ってくるものである。そのため、それぞれの立場で何が出来るかを考える必要がある。それを前提とした意見をいただければと思う。

（藪下委員）

- 寺町高辻の南に物流事業者の配送センターがあり、よく 4 トン車が停まっている。歩行者は車道の中央よりを歩かざるを得ず、危険を感じている。4 トン車だと荷物の量も多く、停車時間が長い。小型車両に変えること等できないものか。

（塚口会長）

- 参考資料 1 にまちなか物流実態調査の詳細な結果が整理されているが、駐車時間の内訳（例：荷物の個数と積み下ろしに係る時間の関係や横持ち行動の距離と時間の関係など）が把握できると良い。このデータを用いて、もう少し詳しく分析できればと考える。

（山口委員）

- 物流に関して、我々の地区内では台車で配送が多く、トラックが問題になる場面は少ない。むしろ、建替え等の工事車両による長時間の駐車が問題である。子どもの登校時間にも停まっている。

（西山担当部長）

- 道路工事を行う際には、周辺への影響を軽減することを十分に考えたうえで実施する。建築系の工事についても同様の配慮・対策が必要だと思われる。

(田中委員代理)

- 10年～15年前に比べて、まちなかにおける自家用車の利用は減ったと感じている。一方で、自転車は増加し、問題も発生していると感じている。
- 物流については、台車での配送が多くなっており、助かっている。一方、配達で使われている物流車両については、まちなかの狭い道を通るには大きすぎて危険なので、小型化を検討してほしい。
- 道路改良や道路整備を行う際には、荷さばきや配達の車両が停まることを前提として造っていただきたい。木屋町通のように車を停めにくい道路構造にしたとしても、必ず駐停車車両が発生する。

(山田副会長)

- 昔と比べて、自転車は増えている。昔の自動車の問題は違法駐停車と乱暴な運転であった。現在は同じ問題が自転車で発生している。つまり、人が変わらないと問題は解決しないということである。
- 実際にまちなかを歩いて、お年寄りや障がい者等の交通弱者が安全で快適に、楽しく歩くことができるかを確かめてみてほしい。

(塚口会長)

- 全体を通しての意見はあるか。

(島本委員)

- 四条通と富小路通の交差点において、非常に速い速度で通過する自動車があり、身の危険を感じた。
- また、ベビーカーを押している時には、道路の勾配が原因で、側溝に落ちそうになったことが何度もあった。交通弱者の方も含めて道路を使っていただくことを考えると、その状態では困る。

(中村委員)

- 山田副会長から自動車や自転車の利用者の意識を変えなければならないというご指摘をいただいた。我々も色々取り組んでいるが、大人の意識を変えることは難しい。そのため、現在、子供の意識から変える取組（子供が描いたマナー啓発ポスターを看板に掲示）を実施しており、他の地区にも取組を広げていきたい。

(塚口会長)

- 「歩くまち・京都」の取組と自転車の関係は切っても切り離せない。「歩いて楽しいまちなか戦略」の取組では、細街路における自転車について考える必要がある。自転車は自動車に対しては弱者だが、歩行者に対しては強者である。京都市建設局自転車政策推進室から報告はないか。

(長谷川企画課長)

- 自転車政策推進室では、放置自転車の撤去やまちなか駐輪場の整備を進めている。放置自転車数については、地元の方々との啓発活動の効果もあり、劇的に減少している。しかし、なくなっておらず、短時間の放置や夜間の放置等、今までと違う形で放置自転車の課題も出てきている。
- 4月から保険の義務化も実施する。自転車が危ない乗り物になっている状況もある。引き続き、子どもへの啓発活動など、ルール・マナーの向上に取り組んでいく。

(山口委員)

- 今後の戦略の推進においては、ソフト面の対策が必要と考えている。ただし、普段の自治会の活動に協力いただいている方でも、具体的な取組を実施するにあたっては協力を得られない場合が多く、難しさを感じている。
- また、看板や障害物を道路上に置くような方もいる。学区民にご理解いただき、改善したいが、できずに困っている。
- 20km/h ゾーン指定が難しいのであれば、20km/h を示す表示はできないか。また、カラーラインだけではなく、より綺麗な道路にしていいただければ、看板の問題等解決することもあるのではないかな。感覚的なもので、綺麗な道路に看板は置きにくい。できる範囲で取り組んでいただきたい。

(塚口会長)

- 歩いて楽しいまちなかゾーンについて、幹線道路と細街路の交差部に、ハンプを設けることを検討してはどうか。ハンプを設けることによって、運転手が歩いて楽しいまちなかゾーン内は他と違うエリアであるという認識を持つことに繋がると考える。

(富江委員)

- 歩行者もマナーを守っていないことがある。四条通と細街路の交差部で信号無視をする歩行者が多い。また、四条通を自転車で通行する人もいる（四条通の歩道は終日通行禁止、車道は8時～21時まで通行禁止）。特に訪日外国人旅行者が多いように感じる。こうした方々にも周知・PRを行う必要があるだろう。
- また、キャリーケースを運ぶ際の気遣いも必要かと思われる。

(塚口会長)

- 訪日外国人に対しては気持ち良く受け入れて、またリピーターとして来ていただけるようにする必要がある。十分な情報提供を行う必要がある。

(2)「歩いて楽しいまちなか」の将来像について

(塚口会長)

- 将来像に関する意見があればいただきたい。

(諸井委員)

- 様々な問題を議論する必要があるが、最終的にごみの問題が出てくると考えている。

(笹井委員)

- 木屋町通では、夜になるとまちの雰囲気が一変する。夜には、違法駐輪やごみ問題も無法地帯となる。住んでいる人も24時間歩いて楽しいと感じられるまちになればと考えている。

(塚口会長)

- 住んでいる人の生活のうえにまちが成り立っている。住民の不安や不満を残して、歩いて楽しいまちとは言えない。

(塚口会長)

- 歩いて楽しいまちなか戦略については、ある程度の成果を挙げてきた。歩いて楽しいまちなか戦略の方向性は、グローバルスタンダードという観点から見ても、間違っていないと自信を持っている。だからこそ、京都らしさを持った「歩いて楽しいまちなか」を考えていく必要があると考えている。

- 今後、将来像だけを集中的に議論することも重要かと考える。今後とも、皆様からの様々なご指摘やご意見をいただきながら進めていきたい。

〔４〕閉会挨拶

（高畑室長）

- まちなかの将来像については、引き続き議論をさせていただきたい。本日も様々な観点から色々なご意見をいただいた。一堂に会して、このような活発な議論をすることが重要だと改めて感じた。また、「歩いて楽しいまちなか戦略」の取組を地域の取組と重ね、市民運動として活動されていることについて有難く感じている。本日いただいたご意見を基に、これからも取り組んでいきたいと考えている。

(別紙)

第9回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 出席者名簿

分野	所属・役職	委員氏名	出欠	備考
学識経験者	立命館大学理工学部特任教授（会長）	塚口 博司	出席	
	京都大学大学院経済学研究科教授	岡田 知弘	欠席	
	京都大学大学院工学研究科教授	山田 忠史	出席	
商業関係者	京都商店連盟会長	宇津 克美	出席	
	京都商店連盟中京東支部支部長	宇治田 脩孟	欠席	
	四条繁栄会商店街振興組合理事長	野村 清孝	欠席 代理出席	副理事長 亀井 邦彦
自治連合会	日彰自治連合会会長	山口 正夫	出席	
	日彰自治連合会副会長	山田 昌枝	出席	
	生祥自治連合会会長	中村 勝	出席	
	生祥自治連合会	島本 邦子	出席	
	立誠自治連合会会長	諸井 誠一	出席	
	立誠自治連合会	笹井 永美子	出席	
	豊園自治連合会会長	柴 佳伸	欠席 代理出席	豊園交通対策協議会 会長 明石 昇三
	豊園自治連合会副会長	富江 さゆり	出席	
	開智自治連合会会長	薮下 清二	出席	
	永松自治連合会会長	井上 清次	欠席 代理出席	副会長 田中 博
関係団体	「歩いて楽しいまちなか戦略」における 駐車場問題対策協議会会長	津田 和雄	出席	
	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	小野 善三	欠席	
交通事業者	京都タクシー業務センター代表幹事	兼元 秀和	欠席 代理出席	事務局長 近藤 智彦
	一般社団法人京都府トラック協会専務理事	井尻 憲司	出席	
国土交通省	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	戸田 辰司	出席	
京都府警察	中京警察署長	坂手 貴	欠席 代理出席	交通課長 神山 保
	下京警察署長	坂根 剛	欠席 代理出席	交通課長 西向 健
市民	市民公募委員	小井 香欧里	欠席	